

私たち市議会議員は責任を持って

平井竜一さんを推薦します

坂井かずひこ

森しんいち

佐藤 大介

野党共闘
実現！

田村ひろゆき

後藤ゆう子

納田さおり

かとう涼子

森てるお

藤岡 智明

中村すぐる

保谷 清子

大竹あつ子

こんなもん じゃないぞ！

西東京市
VOL. 4

平井竜一が今日も歩く



防災特集号

54歳

Ryuichi Hirai

平井竜一

発行：西東京市の未来をひらいていく会

代表：藤井一男 〒202-0015 西東京市保谷町 6-25-1-103



推薦団体

立憲民主党、西京東・生活者ネットワーク、日本共産党
無所属市議有志一同、東京都商工政治連盟西東京支部 松川紀代美
安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める西東京市民連合

1/18(月)6:30～8:30
ひばりヶ丘駅南口
1/19(火)6:45～8:30
東伏見駅北口
1/20(水)6:30～8:30
田無駅南口
1/21(木)6:45～8:30
西武柳沢駅北口
1/22(金)5:00～8:30
保谷駅南口

いくぞ！
もっとわくわく
するまちへ

徹底した現場主義、「対話」第一の

平井竜一が今日も歩く！

防災特集号

※次回、環境等の特集予定。

VOL.4

防災アドバイザーから見た西東京市の防災は？



小野さん(右)と懇談する
平井竜一(左)

自治体への防災講演会や企業などに防災のコンサルティングなどを行う防災アドバイザーの小野修平さんと西東京市の防災の現状と課題について懇談を行いました。

小野さんは今年の台風19号で市内の各自主避難所を回り、職員に気付いた点をお伝えしたそうです。

市内の小中学校に避難所運営協議会があり、地域住民が開設することになっていますが、実際にはなかなか難しい面があります。

市は災害時に学校に全員が避難するのは不可能なので在宅避難を勧めています。在宅避難者支援の拠点もまだ未整備です。

市内には災害時の要配慮者が約10,000人いますが、災害時にどのように避難をさせるかについてのしくみや制度作りも重要課題です。危機管理課だけでなく、**役所全体での取組が必要**とのことでした。

平井竜一はこう思った！

防災は市長の仕事の1丁目1番地です。地域の組織の連携強化・活性化と、それらから生まれるつながりの強化が重要です。

自治会の活性化や市の防災と福祉の連携、消防団やPTAなど地域・コミュニティの横のつながりを強化していくしくみが必要です。情報発信の充実や助け合いの関係性のしくみを構築していくためには、トップである市長のリーダーシップが必要です。

ペットの同伴避難所は人間の命を救うために不可欠！



菅原さん(右)と猫を交えての懇談。

飼い主のいない猫の避妊・去勢や保護活動を精力的に行っている「西東京市地域猫の会」代表の菅原美穂さんとペット防災について懇談を行いました。懇談の場所は会と提携し、保護した猫を預けている「田無ねこカフェ」です。菅原さんはペットを飼う多くの市民が「災害時にペットを連れて避難する場所がなく不安」と思っているとのこと。

ペットを連れての**同行避難所**は各避難所にあります。屋外で飼い主とは別の場所でケージに入れられての収容です。屋外では体調を崩す危険があり、飼い主は避難を躊躇してしまいます。菅原さんは**ペットのそばに飼い主がいら**れる**同伴避難所**の必要性を市に訴え、ようやく昨年、風水害の自主避難所設置の際のみ、エコプラザにペットの同伴避難所が指定。同伴避難所が増えることを切望しています。

ペットの同伴避難所開設は、飼い主である人間の命を救うためにも重要です。開設場所を増やしていきます。



保護猫と触れ合う平井竜一

障がい者グループホーム「北町マリーナ」を訪問



角田理事長と懇談。災害時の支援も課題です。

障がいがある方のグループホームは「親亡き後」の受け皿として重要ですが絶対数が足りません。

行政が積極的に関わって増やしていくことが重要です。